

# 舟石川・船場地区 村政懇談会

|      |                                                            |                 |
|------|------------------------------------------------------------|-----------------|
| 日 時  | 平成 27 年 8 月 30 日（日）                                        | 午後 7 時から 9 時分まで |
| 場 所  | 舟石川コミュニティセンター 会議室・多目的ホール                                   |                 |
| 出席者  | 村執行部（村長，副村長，教育長，村長公室長，総務部長，村民生活部長，福祉部長，建設農政部長，教育次長，議会事務局長） | 計 10 名          |
|      | 事務局（課長，課長補佐，係長，自治推進課職員 3 名）                                | 計 6 名           |
|      | 自治会長（舟石川 1 区，船場区，舟石川 2 区）                                  | 計 3 名           |
|      | 自治会連合会（会長）                                                 | 計 1 名           |
| 参加者  | 舟石川 1 区 29 名，舟石川 2 区 10 名，船場区 8 名，<br>その他 24 名             | 計 71 名          |
| 司会進行 | 小林 一夫                                                      |                 |
|      |                                                            | 総計 91 名         |

## 《次第》

1. 開会
2. 出席者紹介（自治会長及び村執行部）
3. 地区自治会長あいさつ
4. 村長あいさつ並びに村政に関する説明・質疑応答
5. 地区自治会からの事前質問・要望に関する回答・質疑応答
6. 自由質問
7. 閉会

## 《記録》

### 【4. 村長あいさつ並びに村政に関する説明後の質問】

なし

### 【5. 地区自治会からの事前質問・要望に関する回答後の質問】

**舟石川 1 区住民：**事前質問の国道 6 号線の 4 車線化について，なぜ東海地区だけ 2 車線のままなのか理由が回答されていない。

**建設農政部長：**2 車線のままの理由は詳しくは分からない。国道 6 号線の全体を見ると，石岡や日立などでもまだ 2 車線のままの箇所があり，国でも渋滞の状況などを加味しながら，優先順位つけて工事を行っているところであると思う。いずれにしてもなるべく早く 4 車線になるようにしていきたい。

**舟石川 2 区住民：**村内の側溝の件で質問したい。今自分が住んでいる場所は何年前に側溝の掃除をやったのか。優先順位を決めてやると言っていたが，次の清掃はいつなのか教えて欲しい。

**建設農政部長：**どのくらいのサイクルで清掃しているかは定まっていない。1 度清掃した後，2 度目の清掃までは 10 年以上経ってしまう。畑の脇などはすぐに悪い状態になってしまうこともあり，そのような場所は住民から申し出ていただき，優先順位を

## 舟石川・船場地区 村政懇談会

つけてやっている。特に家が密集したり，処理しないと床下浸水になってしまうところなどを優先して清掃している。

**舟石川2区住民：**昔はもっと小さな側溝で，自分たちの手で簡単に持ち上げることができたため，すぐ清掃していた。しかし，今の側溝は蓋が頑丈で持ち上げることが困難である。1回は村で清掃するから，2回目以降は自分たちで清掃しろというように聞こえる。とてもあの大きな蓋を持ち上げることはできない。

**建設農政部長：**2回目以降の清掃を強制しているわけではない。役場に側溝の蓋を上げる機械があり，その機械を使えば2人で蓋を上げることができる。役場としても協力するので，一緒に清掃していきたい。清掃後に出た泥も土嚢袋に入れ，置いておいてもらえば役場で処分する。他の地区ではそのようにやっていただいているところもあるので，なるべく協力していただきたい。村がやるまでにはどうしても時間がかかってしまうので，なるべく協議したい。

### 【6. 自由質問】

**舟石川2区住民：**役場の公用車が多すぎると思う。公用車の様子を見てみると，1日のうち半分も動いていない日がある。また，電気自動車を配備して災害があった時にコミセンの電気の補助をするという話だが，もしそうであれば電気自動車ではなく発電機を置いておけば十分なのではないか。最近自治会の予算が削られているので，その公用車のお金を削って，自治会の予算に回してほしいと思う。

**総務部長：**以前から比べると，効率よく公用車を動かすために台数を徐々に減らしている。実績としては1日1台あたりだいたい2~3回稼働している。しかし，指摘のとおり，時間帯によっては半分近く使っていない時もある。公用車については総務課が管轄であるが，今後も適切な管理をしていきたい。電気自動車については6台購入しており，緊急時には各コミセンに配備することになっている。また，二酸化炭素抑制のために電気自動車を購入した経緯もある。災害時には2~3日分の電気を補充できることになっている。一方では，自治会の補助金が削られているという話もあるので課題としたい。

**村民生活部長：**現在，各地区に対してまちづくり協議会への移行を提案させていただいている。その中で，自治会の補助金で本当に必要なものはどのくらいなのかなど，良い補助金の在り方を皆さんと協議したいと考えている。

**舟石川1区住民：**新聞を読んでいて感じたことがある。東海村は今まで原子力の力により，たくさんの方が集まってきた。福島第一原発の事故が起こった後，人がなかなか集まらなくなった。そのような中で，村が関与して雇用の場を作るということは良いことだと思う。その件について計画の実態を知りたいので教えていただきたい。

**村長：**今回考えているのは，大きな企業についてではなく，その関連会社の運転管理等についてである。一般的に原子力の人材と言うと，研究者のことを考える人が多い

## 舟石川・船場地区 村政懇談会

が、その人材の雇用対策は文部科学省や経済産業省などで行っている。原子力関係の関連事業所は村にたくさんあり、そこには高卒や高専卒の技術者が就職できるが、現在はなかなか採用が難しい状況になっている。しかし、そのような採用が少なくなると、実際に運転管理や保守管理するような人がいなくなってしまう、東海村にとっては危機である。そのような部分の雇用対策を国がやらないなら村でやろうと考えている。これまでは、事業者の自主努力でやってきたが、村が関与することにした。今後企業には協議会に参加してもらい、村も関与して一緒に人材を募集していきたい。村が入ったからといって信用が上がるか分からないが、東海村にそのような雇用の場があるということをアピールしていきたい。結果的に地元の子どもが就職したり、他からきた人が地元に着住することになるので、雇用の場を作ることが定住に繋がると考える。東海村の抱えている課題と原子力関係の課題がどちらもクリアできると考える。

**舟石川1区住民：**民間企業では製品の評価などについてお客様サービス窓口を設置し、改善を図っている。そのような制度で村の改善をしてほしいと思う。例えば、村の最重点施策などについても村民の意見をしっかり聞いて改善して欲しい。

**村長公室長：**村の事業をどのように評価して改善していくかという質問だと思う。村では総合計画に基づいて各分野が個別の計画を作っている。また、それらの個別の計画に基づいて実施計画を毎年作っている。さらにその実施計画に基づいて事業を予算化し、事業を実施している。実施計画策定に当たっては前年度のものを評価しながら、続けるべき事業なのか、新規事業として必要なものは何かなど考えている。今の意見にあったように、広く村民の皆さんからも意見をもらい、今実施している事業が本当に必要なものなのか評価しながら、村民の皆さんのためになるようなことを新規の事業に取り上げるなどしたいと思う。

**舟石川1区住民：**色々な活動をしており、舟石川コミセンのこのホールを使うことがあるが、他に比べ舟石川コミセンのホールが一番狭いと感じる。また、駐車場も狭く、困っている。このホールを広げる土地はあると思うので、なんとか広げてほしい。また、空き地になっているまわりの土地の持ち主と交渉し、駐車場も広げてほしい。もう1つは、事前質問に対する執行部の答えについてだが、国道の話の中でなぜ管理事務所に行って今後の計画を聞いてくるなどしないのか。側溝清掃の計画はないのか。住民に対して計画表を具体的に出すのは行政の仕事だと思う。納得がいかない。

**村民生活部長：**コミセンのホールの拡張についてだが、かなり予算かかることで、他のコミセンからも関連した話が出ているので、出来るようならやることも考えるが、確約はできない。もう少し各コミセンから同じような意見が上がれば考えていく。コミセンの駐車場はどこも狭い。舟石川コミセンは駐車場の真ん中の草の生えたスペースも駐車場として使えるが、それでも足りないということであれば、近隣を貸してい

## 舟石川・船場地区 村政懇談会

ただくなど、役場としても相談していききたいが、地元でも交渉していただいて、地元の方々にも協力をお願いしたいと思う。

**建設農政部長:**国道6号線の拡幅については、常陸河川国道事務所と協議はしている。現在、日立の大和田拡幅を実施しており、その箇所が終了したら東海村の箇所の工事を着手すると聞いている。予算の関係上、はっきりとした時期は分からないが、大和田拡幅工事が終わるのを待たずに東海村の箇所の工事を始めてもらえないか要望をしている。側溝の清掃の件は、おおまかな予定は立てられるが、緊急性のあるものが出てきてしまうとなかなか予定通りにできない。台風が来て浸水しやすいところなどを重点的にやることになっているので、いたちごっこになっている。しばらくやっていない所はひどい状況になってしまうので、住民の方からの申し出があれば優先的にやりたいと思う。御理解いただきたい。

**舟石川1区住民:**村の防災無線の利用について要望がある。当自治会では、3年前の夏から勉強会を実施している。去年や一昨年から比べると参加者が減ってきている。参加者不足を回避するために、村の防災無線でこの勉強会の案内を流したいと要望したが、断られた。どうしてだめなのか。同好会や趣味で行っているわけではない。案内文の回覧をしたり、ポスターを貼るなど周知方法を努力しているがなかなか参加者が集まらない。去年と一昨年は認知症について県庁から職員にきてもらい勉強会をした。今年は口の中の衛生についての講座と体を動かす講座をなごみから職員を招いて盛大に開く予定だったが30人程度しか来てくれなかった。集める方法として1番効果があるのは耳から聞くことだと思う。今後は断らないで対応してほしい。

**村民生活部長:**防災無線は基本的に役場の担当課から流すものであるもので、舟石川の一部のものについて流すことができないということであったと思う。しかし、個局で地区毎に流すということであれば可能であるはずなので、それでも断られたのであれば内部で事実を確認したいと思う。

**舟石川1区住民:**全村対象以外に一部に流すことが可能であるのならば、そのような方法を教えてくれればよかったのではないかな。後でよく教えていただきたい。

**舟石川2区住民:**私が以前同じような事で相談にいったとき、快く断られた。今の回答に基づいて、住民に自由に使うことを許可したら毎日かなりの数の放送が流れるのではないかな。商店が商売に使うなどしても良いのかな。役場が管理しないとだめなのではないかな。

**村民生活部長:**放送する内容については相談いただきたいと思う。

**舟石川1区住民:**行政では財政困難だという話がある中で、今年度から各コミセンに副センター長を2人配置したと思う。なぜ今年度から2人配置したのか。それだけコミセンの仕事が増えたのか。人数が増えた分は給料払を払わなくてはいけないと思う。去年から全体で6人の副センター長が増えた分、いくら払うのか。それによって地域

## 舟石川・船場地区 村政懇談会

の予算が減るのはおかしい。もう1つは側溝の話だが、私の家の隣にある側溝の蓋が合っておらず、舟石川幼稚園の送迎の車が通るたびガタガタうるさい音がする。自分で蓋をはめようとしたができなかった。現場を確認して直してほしい。

**総務部長：**今年度からセンター長については再任用職員を雇用している。再任用職員については1年ごとに再度面接を行って、妥当であれば雇用できる仕組みとなっている。副センター長については非常勤特別職となっており、雇用期間は数年となっている。再任用のセンター長が配置されたからといってすぐに副センター長が必要ないかというところではない。センター長をフォローしてもらうために、今年度は2人雇用した。今後センター長を今年度と同じ数だけ採用できるか定かではないので、状況によってはセンター長、副センター長の体制が1~2名になることがあるかもしれない。

**村長：**コミセンのセンター長、副センター長配置については私が指示した。当初は指定管理で地区自治会にコミセンの管理運営を任せようとしていたが、議会で地区自治会にコミセンの管理を任せるのはどうなのかという意見が出たので、その指定管理はなくなり、これからは村が直接管理することになった。コミセンは災害時の基幹避難所になっており、これまでは避難所の運営は地区自治会長、施設管理は非常勤職員であったセンター長にお願いしていた。しかし、役場として施設管理を非常勤職員に任せるのは問題があったため、今年度から正職員のセンター長を置くこととし、村が責任をもって施設管理をすることにした。また、まちづくり協議会制への移行を提案しているところだが、その話を進めていくためには役場の職員であるセンター長に関わってもらわないといけないと考えた。現場で相談に乗れる職員が必要であるからである。ただ、従来の地区自治会や地区社協も引き続き残っているので、新しい業務をセンター長にお願いすると、従来のコミセン内の業務が回らないと考えたため、今年度は副センター長を2名置くこととした。協議した結果、最終的に従来の地区自治会でやっていくのであれば、2名体制に戻すことを考えている。まちづくり会制へ移行するための過渡期だけセンター長と副センター長の体制を3名にしようと考えた。組織の運営と施設管理を誰がどのようにしていくかを考えている段階であるので、来年度以降の話はまだ決まっていない。

**建設農政部長：**側溝の件は現地を確認したい。

**舟石川1区住民：**東海村は建物が多すぎると思う。最近はまだ消防署の脇に歴史館のような新しい建物を建てると聞いた。また、さらにリコッティも買うと聞いた。そんなにたくさん建物があってどうするのか。空いている建物もたくさんある中、有効的に利用できるのか。旧役場の場所もガラガラで使用されていないように見える。将来の事を考えたらメンテナンスも必要になってくる。そのようなお金があるなら自治会にほしい。こんなに無駄なお金を使って、財政的に苦しいと言っているのはおかしい。各コミセンに副センター長が増えた分のお金はどこから出ているのか。私たちの税金からではないのか。そのあたりを厳しくしてもらわないと困る。

## 舟石川・船場地区 村政懇談会

**村長：**財政運営についてだが、村にお金がないからある事業を廃止するという説明はしていない。基本的には目的を達成すれば評価してからその事業を廃止する。今は自治会の補助金は直接減らしていない。ただ、ごみ収集関係の補助金は内容を見て、必要性を判断して廃止した。(仮称)歴史と未来の交流館についても、色々意見があると思う。リコッティに関しては駅前であり、かなり有効に活用できると考えて取得を決意した。将来的にはその場所で商業支援したいと考えており、2階は事業を始めるためのレンタルオフィス、1階は展示をしたり、観光でPRする場所としたいと考えている。旧役場の村民活動センターについてだが、7年間のリースとなっている。当面、旧役場の代わりのもので建てる。リースの更新をするかは切り替え時期に判断できる。それぞれの建物については色んな見方があり、必要としている人もいる。誰か一人の意見ではなく、色んな人の意見を聞きながら、議会に諮りながら進めていきたい。役場の説明が足りなければ、各部署で答えられるようにする。各部署で答えられないときは、私が自ら答える。

**舟石川2区住民：**歴史館に対する答えが抜けている。歴史館は建てることになったのか。土地が広くてどれほど費用がかかるかも分からない。しかし、東海村の歴史は浅いと思う。リコッティくらいで村民に対するPRができるのではないか。最近水戸市やつくば市なども箱物でお金がかかっており、住民が非常に敏感になっている。将来が赤字になるのを心配している。たくさんお金がかかるのであれば、村民に早く知らせてから実行すべき。

**村長：**設計費までは予算化されている。

**教育長：**(仮称)歴史と未来の交流館の建設予定地は消防署の隣の雑木林で、総事業費は約12億円となっている。確かに少子化や高齢化になっており、村の人口が減ることが予想されている。しかし、ランニングコストはできるだけ削減してこれから進めていきたいと考えている。白方小、石神小、照沼小などからの出土品は1万点以上ある。今は、村内の空きスペースに分けて保存しており、ほとんど保存しておく場所がない。村としてはこれまで伝承館のようなものを作る話もあり、民具などを集めたりしていたが、実行できなかった状況であった。また、稲村退三展の作品も修理修繕しておらず、私が教育長になってからその修理修繕を行い、日の目を見るようになった。村に財産があるのに、これまで展示してこなかったのが申し訳なかった。今後、中央公民館にそれらの文化財や民具を集めてみなさんに見ていただきたいと思う。これまでの箱物と違って、文化センターや絆、東海高校、東海南中、図書館が近いので、人が集まる発信地にしていきたいと考えている。最近も、図書館祭りを図書館で行ったが、当初予定していた2000人を超え、3000人以上の村民が集まった。少子化時代だからこそ人が集まり、子どもも高齢者も集まって、これまでとは違う発信地にしたいと考えている。村民の皆さんに具体的な形での情報発信が足りなかったと思うので、これから情報発信し、意見を聞きながら進めていきたいというのが教育委員会の思い

## 舟石川・船場地区 村政懇談会

である。

**舟石川1区住民：**文化財や民具の展示なら、リコッティで十分だと思う。全てを一気に展示しなくても、定期的に交換して展示すれば良いのではないか。わざわざ12億円という高いお金をかける必要あるのか。もう建設するという結論ありきなのか。建設を止めることもできるのか。

**教育長：**展示の方法などはこれから具体的に説明して行きたい。これまでは小学校毎にはポケットミュージアムというものを行っていた。夏休みにも「東海村の古代の土に眠る村」というテーマで学習会を開催し、80名以上の子どもたちが集まった。その様に場所ごとに開催することはできたが、子どもたちが一箇所で東海村の歴史を学べる場所はなかった。その様な場所を作っておかないといけないと思う。教育委員会としては村民の意見も取り入れ、理解を得ながら、建てる方向で進めていきたいと考えている。子どもたちだけでなく、全ての村民が歴史を知って、歴史に働きかけるような場所を作りたい。これまで村としてそのような歴史館を作れなかったというのと、文化財や民具も集めてきた経緯もあるので、建設を止めることはしない。理解してもらえるように丁寧に進めていきたい。

**舟石川1区：**ごみ処理についての質問をする。今、東海村は集積所もあり綺麗である。以前までは燃えないごみやリサイクル物のほか、燃えるごみも村内の清掃センターに搬入することができた。しかし今は、ひたちなかのクリーンセンターに持っていかなければならないなくなってしまった。リサイクルセンターまではここから14km、車で行っても30分程かかる。大量にごみが出てしまった時は、2回以上運ぶことも考えられ、往復1時間以上かかる。とても不便であり、不法投棄などの問題も出てくる。そこで、村内の清掃センターに集積車を1台置いてもらい、ある程度ごみが溜まったところでひたちなかのクリーンセンターに持っていくという方法はどうか。受益者負担なども考えれば費用面も心配ないと思う。もう1つは、リサイクル物の受け入れ時間や置き場所の検討ができないかということである。現在は清掃センターに車庫が1つだけ置いてあり、東海村の規模を考えると置き場所としては小さいのではないかと思う。清掃センターの敷地は広いので、もっとうまく運びこめるようにできれば良いと思う。

**村民生活部長：**もともと村内の清掃センターは煙や老朽化などの問題があったため、新しく現在のクリーンセンターをひたちなか市と共同で建設することになった。一時、旧清掃センターの位置に建設することを検討したが、近くに集積所もあるため、当時は個人でひたちなか市のクリーンセンターまでごみを搬入する人の数は少ないと考えた。普段出るごみの量では集積所で事足りると思うが、不便があるか。

**舟石川1区住民：**全ての人が車を持っているわけではないので、全村的な意見として述べている。集積車はあるのだから、運用を変えるだけでできるのではないか。

**村民生活部長：**集積車を導入すると費用もかかるため、当時は清掃センターに集積車をおいて定期的にひたちなか市のクリーンセンターに搬入するという方法は考えなか

## 舟石川・船場地区 村政懇談会

った。現状把握して、そのような問い合わせが多ければ今後のやり方を考えていかなければならないと思うが、現時点でははっきり回答できない。リサイクル物の置場についても提案していただいたので、もう少し使いやすい体制を考えたいと思う。

**舟石川1区住民：**リサイクル物の置場に関しては防犯カメラを設置すれば土日でも搬入できるのではないかと思う。そのようなことも考えてほしい。

**舟石川1区住民：**ここ何年かずっと言い続けている案件についてである。駆け上がり線の「グルービー」と「ゴライクリーニング」の十字路がとても危ない。おもいやりの道になっているが、車の抜け道にもなっており危険である。ずっと言い続けているが、改善してくれない。どうなっているのか。もう一点の質問として、最近色々な事件が起きているのに、なぜ各公園に防犯カメラを設置しないのか。予算を削るところと増やすところの観点がずれているのではないか。

**建設農政部長：**何回か村政懇談会でも出ている案件だと思う。今年の1月28日に警察と立会いで現場を確認した。皆さんからの意見は、交差点の信号を感応式にしてほしいという要望であったと思う。警察の話では、幅員が狭く、停止線ギリギリに停めなければ反応せず、そこまで車を停めてしまうと、曲がってきた車とぶつかってしまうということであった。今の状況では感応式にするためには幅員を広げなければならず、難しいという話であった。警察からの提案としては、子どもが通学路として使う際は、「いさかや」で反対方面に渡って、十字路を通らないようにするというソフト面からの対策ができないかということであった。そのような事も含めて、今後みちづくり検討委員会で協議していきたいと思う。おもいやりの道はスピードを落とすことが目的であり、感応式の信号にすると車優先の道路になってしまうということもある。交差点としては、現状の押しボタン式で歩行者優先としたい。通学路を変えてほしいという警察の方からの意見は自治会へも提案させていただき、みちづくり検討委員会でも協議していきたいと思う。

**舟石川1区住民：**押しボタン式にしても、そもそも幅が狭いため、車の交互通行は困難である。また、ベビーカーやシルバーカーを押している人や自転車の人が押しボタンを押そうとしても、段差があって押しにいけない状況もある。段差も改善してほしい。押しボタンが押せないため、車が来ないのを見計らって、赤信号でも渡ってしまう人もいる。昨年も早急に対応すると回答をいただいたが、改善されていないので、早く対応していただきたい。

**建設農政部長：**先ほど回答したのは、該当の交差点を通る子どもたちのことであったが、今回の質問は思いやりの道を通る人全般の話だったと思う。いずれにしても段差については早急に改善したい。

**村民生活部長：**防犯カメラの設置についてだが、公園に設置するのは難しい。最近起きた事件の防犯カメラは商店街に設置していたと思う。実際の事件が起きた際にはコンビニに設置してある防犯カメラの映像を使用したりしていると思う。防犯カメラが

## 舟石川・船場地区 村政懇談会

あれば安心だという気持ちは分かるが、村内のどこに設置するかなどの問題もあるので検討課題となる。すぐに設置するという回答はここではできない。全国的に公園に設置するということにはなっていないが検討したい。

**舟石川1区住民：**料理店「はなわ」の出入りに面する道が複雑である。複雑なのだが、車が多く通る。その道は街路樹がたくさんあって見にくく、いつ事故が起こるか分からない。以前から要望しているが、全く改善されていない。現場を見て改善してほしい。

**建設農政部長：**はなわのある場所に道路を一本通してほしいという要望が出ており、警察とも現地を見て協議したが、道路を作ると余計危険になってしまうため他の安全対策の協議をしなければならないと思う。街路樹については確認し、協議したい。

**舟石川1区住民：**教育関係に長く携わってきて、教育長が原研の研究者と中学生との話し合いを実施したことや、水戸の博物館から展示物を借りてきて、東海村でも展示するという努力をしてくださりありがたいと思う。今は理工学や医学の分野の進歩が早い時代である。理工学や医学の分野では世界的な競争が起こっており、日本人の若い人が内向きなのが心配である。中国は人口が多く、選ばれた人が優れた環境で研究しているので日本は負けているのだと思う。東海村は量子化学の村であり、65ヶ国から研究者が原研にきて研究している。国際的な村になっており、研究所を抜きにして東海村は考えられないと思う。トップクラスの研究者は外から東海村に来て仕事をしているが、その仕事をサポートする人が必要である。しかし、工業高校卒の技量ではなかなかサポートする仕事にも就けないと思う。ノーベル賞を取った油井さんなどの話によると、小中学校の時の影響というのが非常に大きいと聞く。もっと小さいうちから医学や科学、工業に関心をもつように様々な行事を企画してほしいと思う。グローバルやダイバーシティについても教育に活かしていただきたいと思う。

**教育長：**私も理科系出身だから分かる。自然科学に興味のある子どもを育てようということで、中学生対象に夏休みに筑波大に行き、講演会に参加してきた。また、まちづくり推進課と一緒にJAEAの職員の方とディスカッションをした。そのディスカッションでは、グループを作って自然科学についてどのような取組しているのかなどの意見を聞いた。その様な取組をこれからもどんどんやっていきたい。(仮称)歴史と未来の交流館は、歴史館だけの要素ではなく、子どもが休みの日に行けば工作ができたり、理科実験ができるなど、児童館のような役割をすることも想定している。そのような子どもにとってメインになる建物が必要であると私たちは考えている。

**舟石川1区：**舟石川近隣公園の2階部分はなぜ作ったのか。2階があるなら、そこに防犯カメラを付ければ良いのではないかと思う。公園の検討委員会にいたが、その時は2階部分の話などは全く出てこなかった。2階部分ができた理由を知りたい。

**建設農政部長：**近隣公園は地区の方の検討委員会の意見を踏まえて作られたと思うが、

## 舟石川・船場地区 村政懇談会

それが検討委員会からの意見ではないのであれば、経緯を調べて地区自治会に報告したい。

**舟石川1区住民：**防犯パトロールの巡回の時にもその話がでた。小さな子どもがよじ登って危ないという意見もある。また、そこから飛び降りるなどしてしまうかもしてない。早急に検討していただきたい。

**建設農政部長：**対応していきたい。

**船場区住民：**今、船場区には営農センターの存続問題がある。出すところには簡単に12億円という大金を出せるのだなという感想をもった。質問はマイナンバーについてだが、以前に住基カードというものがあり、それに伴った番号があったと思うが、その番号はどうなるのか。また、マイナンバーカードの申請方法や手続きについてだが、高齢の一人暮らしの方など手続きが難しい方に対してはどのように対応するのか。また、その番号には個人情報がたくさん入っていると思うので、村としてのセキュリティ対策の考え方を聞きたい。

**総務部長：**住基カードについては、来年の1月前までに取得した方については、有効期限までは使える。来年1月以降は新しく住基カードは申請できない。個人番号カードについては、申請書に写真添付をして郵送する手続きがあるので、一人で手続きが困難だという方はできるだけご家族と一緒に手続きしていただきたいと考えている。今のところ、村としての手続きのケアは考えていない。セキュリティの問題だが、個人番号を扱うパソコンについては外部との接触はない。今後も外部に繋がらないようにしていく。

**村民生活部長：**セキュリティの話だが、個人番号を扱うパソコンはインターネットにも接続しておらず、別回線になっており、村としては今のところ外部に漏れる心配はない。ただ、その情報は病院などでも使うため、そこから外部に出てしまう可能性はないとは言えない。

**舟石川1区：**今までの説明だと、駅の東側だけどんどん発展しており西側は何もないと思う。もう少し五次総合計画や他の計画の中でも西側に人が集まるような、コミュニケーションを取れるようなことを考えてほしい。要望なので回答はらない。

以上